

# 事業報告書

2017年6月1日から2018年5月31日まで

一般財団法人教育支援グローバル基金

## 1. 主要な事業の成果

一般財団法人教育支援グローバル基金は、2017年6月から2018年5月に、日本全国の高校生、大学生を対象とした人材育成事業「ビヨンドトゥモロー」を開催した。

### (1) 奨学金事業

1. **ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2017/2018**：親との死別・離別を体験していたり、児童養護施設に暮らすなど、社会経済的に困難な状況に置かれた若者こそ、今後、人の心の痛みに想いを馳せ、世界や日本のために行動するリーダーになる資質を有しているというミッションの下、進学のための奨学金（返済不要）年間72万円を給付。2018年度対象者の選考より、モルガンルイス・バッキアス法律事務所からのプロボノ協力の下、応募要件（保護者が死亡、単親家庭である、児童養護施設に暮らしている、里親家庭に暮らしている、生活保護受給世帯に暮らしている、のいずれか）を満たしていることの確認を法的書類をもって行った。
2. **エンデバー2017/2018**：児童養護施設に暮らす日本全国の高校生を対象とし、進学準備に際する費用（センター試験受験料、入学検定料など）を年間上限10万円の給付型の奨学金として支給する事業を実施した。2017年度事業については、内閣府子供の未来応援国民運動平成28年度未来応援ネットワーク事業として採択され、日本財団からの助成金を事業費用の一部に充当した。

### (2) リーダーシッププログラム事業

#### a. エンデバー サマーリトリート 2017 2017年7月26日～8月1日（東京都・山梨県）

1年間に渡る奨学金事業「エンデバー サマーリトリート 2017」に参加している学生たちが、3月に作成した「つながりコミュニティ」を構築するという提言を具体化すべく、様々な領域で活動を行う企業や団体にお話を伺い、「つながりコミュニティ」の実現のために自分たちに何ができるのかを考え、新たな提言の形にまとめて発信した。プログラム期間中には内閣府にて、子どもの貧困に関心を持つ有識者たちの前で提言発表を行い、メディアにも広くとりあげられた。他には、子ども食堂でボランティア活動に参加したり、また、富士山麓でのアウトドア・アクティビティを通し、仲間とのチームワークを深める機会を提供した他、高校3年生を対象に、高校卒業後の進学をみすえた入試対策や奨学金申請をサポートする進学セミナーを開催した。

#### b. 夏季グローバル研修 米国サマープログラム 2017 ～村瀬二郎記念奨学事業～ 2017年8月7日～18日（東京都／事前研修・米国）

日本全国から、広く世界に活躍するリーダーとなる志を持ちながらも、グローバルな経験を積む機会が限られている環境にある学生15名がワシントンDC・ニューヨークを訪問し、米国の歴史や文化、社会について学んだ。また、各都市で活躍するリーダーたちとの交流を通し、日本の現状をアメリカの人々に伝えるアンバサダーとしての役割も果たすことができた。渡米前には、東京で事前研修を行い、米国大使館を訪問したり、英語でのプレゼンテーションを練習するワークショップを開催した。ワシントンDCでは、ホワイトハウスや連邦議会、世界銀行やCouncil on Foreign Relationsを訪問し、特別セッションに参加した他、トランプ大統領元アドバイザーによるブリーフィング・セッションに参加する機会があった。ニューヨークでは9.11のテロの犠牲者の家族や友人たちとの交流や、ホームレスへの炊き出しボランティア体験、現地で活躍する日本人プロフェッショナルとのキャリアセッション、ジャパン・ソサエティーでの閉会式などを行った。本プログ

ラムは、日米両国の架け橋として活躍された故村瀬二郎氏のご遺志を継ぎ、日米交流の担い手となる若者がアメリカの空気に触れ、多くのアメリカ人に会い、米国社会について学ぶことを目的とした「村瀬二郎記念奨学事業」として開催した。

**c. ジャパン未来リーダーズサミット 2016 2017年10月7日～9日（東京都）**

親との死別・離別や、児童養護施設で生活しているなど、様々な事情により機会を得ることが難しい状況にありながらも、広く社会のために役立つ人材となる志をもつ全国の高校生・大学生を対象に、本サミットでは、多様な領域で活躍するリーダーたちによるアドバイスの下、「子どもの貧困解決のためのアクションプラン」をテーマに、提言をグループ毎にまとめ、最終日には政治・行政・ビジネス・メディア・NGO など各方面のリーダーたちの前で発表する機会を提供。「体験共有」「スピーカーセッション」「ディスカッション」「提言作成」など様々なモジュールを通じて、幅広い領域で活躍するリーダーたちによるアドバイスの下、若者が輝くことができる社会のあり方について提言をまとめ、最終日の閉会式で発表した。閉会式における提言発表を審査委員が評価し、優勝に選ばれたチームが、後日、加藤勝信厚生労働大臣及び小泉進次郎衆議院議員を訪問し、プレゼンテーションを行った。

**d. エンデバー2017 クロージング・プログラム 2018年3月9日～11日（東京都）**

1年間にわたる奨学金事業「エンデバー2017」に参加した学生たちが、一年間のプログラムの集大成となる「クロージング・プログラム」に参加し、2泊3日の研修プログラムに臨んだ。クロージング・プログラムでは、年間の活動を総括し、今後、一人ひとりがどのような道を歩いていくかを描き、自らの手で未来を切り開くきっかけを得るためのディスカッションやプレゼンテーション作成の機会を設けた。そして最終日は、東日本大震災から7年という時節に想いを馳せる「3月のつどい」を開催し、支援者・協力者など関係者たちが集まる前で、参加学生たちが、ビヨンドトゥモローの新しい活動である「エンデバー2017」の成果を発表した。児童養護施設に暮らす高校生たちが、高校卒業後の進路をみすえて、前進する姿を発信するエンデバーの1年間の活動の総括となった。

**e. ビヨンドトゥモロー 3月オリエンテーション・プログラム 2018 2018年3月20日～24日（東京都・神奈川県）**

ジャパン未来スカラーシップ・プログラム 2017 及び 2018 参加者、及びエンデバー2018 参加者が集まり、ビヨンドトゥモローについての理解を深め、仲間たちとの信頼を築き、今後の1年間、自分たちが何をしたいかを考える機会を提供。前半の2泊3日は東京で開催し、「子どもの安心・安全」をテーマに、自分たちのこれまでの体験に基づいた、子どもの置かれた状況の課題や、今後、自分たちが学びを深めたい事柄についてチームごとにディスカッションを行い、プレゼンテーションにまとめた。まとめた成果は、支援者・協力者など関係者たちが集まった「ウエルカム・セッション」にてチームごとに発表した。後半の1泊2日は、相模湖畔のキャンプ場で飯盒炊さんやアウトドア・アクティビティを行い、仲間とのチームワークを深める機会があった。

2. 主要な事業の実施状況  
(奨学金事業)

事業名	対象者	選抜方法	参加者 人数	内容	支出額 (円)
ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2017	2017年度に、大学・短大・専門学校に新たに進学予定の者及び、前年度に「ジャパン未来フェローズプログラム 2016」に参加していた者。	1次選考：書類審査（課題作文） 2次選考：面接審査（グループディスカッション）	21名	年間 72 万円の給付型奨学金の支給及び、年間約 4 回の人材育成プログラムへの参加	9,442,440
ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2018	2018年度に、大学・短大・専門学校に新たに進学予定の者及び、前年度に「ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2017」に参加していた者。及び、下記条件のいずれかを満たす者。 ・保護者が死亡 ・単親家庭である ・児童養護施設に暮らしている ・里親家庭に暮らしている ・生活保護受給世帯に暮らしている		24人		9,535,956
エンデバー2017	児童養護施設に暮らす高校生(2017年度に2年次、3年次に在籍)で、高校卒業後に進学を志す者。	1次選考：書類審査（課題作文） 2次選考：本人及び施設長との面接	8名	年間 10 万円（上限）の給付型奨学金の支給（高校3年生のみ）及び年間約 4 回の人材育成プログラムへの参加	4,321,915*
エンデバー2018	児童養護施設に暮らす高校生(2018年度に2年次、3年次に在籍)で、高校卒業後に進学を志す者。		6名		750,160

\*支出額には、サマーリトリート 2017、ジャパン未来リーダーズサミット 2017、クロージング・プログラム開催費用が含まれる。

(リーダーシッププログラム事業)

事業名	日時	開催場所	対象者	人数	内容	支出額 (円)
エンデバー サマーリトリート 2017	2017年7月26日 ～8月1日	東京都・山梨県	エンデバー2017参加者	8名	エンデバー2017参加者が「つながりコミュニティ」の実現のために自分たちに何ができるのかを提言にまとめ、発表。また、アウトドアアクティビティ、進学セミナーに参加。	(上記エンデバー2017支出額 4,321,915*円を含む)

米国サマープログラム 2017	2017年8月7日 ～18日	東京都・米国	ジャパン未来スカラシップ 2017参加者	15名	社会的困難な状況にある大学生 15 名が米国を訪問し、グローバルな視 野を養う活動に参画。ワシントンD C、NYを訪問し、アメリカの歴史 や文化、社会について学ぶ。	10,402,549
ジャパン未来リーダーズ サミット2017	2017年10月7 日～9日	東京都	ジャパン未来スカラシッ プ2017参加者、エンデバー 2017参加者、新規応募の高 校生	72名	親との死別・離別や、児童養護施設 で生活しているなど、様々な事情に より機会を得ることが難しい状況 にある高校生・大学生を対象に、多 様な領域で活躍するリーダーたち によるアドバイスの下、提言をグル ープ毎にまとめ、閉会式で発表する 機会を提供。	6,103,607**
エンデバー2017 クロー ジング・プログラム	2018年3月9日 ～11日	東京都	エンデバー2017 在籍者	8名	1年間にわたる奨学金事業「エンデ バー2017」に参加した学生たちが、 一年間のプログラムの集大成とな る「クロージング・プログラム」に 参加し、年間の活動を総括し、今後、 一人ひとりがどのような道を歩い ていくかを描き、自らの手で未来を 切り開くきっかけを得るためのデ ィスカッションを開催。	(上記エンデバー 2017 支出額 4,321,915*円に含 む)
3月オリエンテーションプ ログラム2018	2018年3月20日 ～24日	東京都・神奈川県	ジャパン未来スカラシッ プ・プログラム2017 及び 2018参加者、及びエンデバ ー2018参加者	38名	ジャパン未来スカラシップ・プロ グラム2017 及び2018参加者、及 びエンデバー2018参加者が集まり、 ビヨントゥモローについての理 解を深め、仲間たちとの信頼を築 き、今後の1年間、自分たちが何を したいかを考える機会を提供。	3,252,184

\*\*エンデバー2017参加者8名分のサミット参加費用は、上記エンデバー2017支出額4,321,915\*円を含む。

以上